プラン名	東名・新東名高速と繋がる三遠南信自動車道を活かした「”山・川・湖” 三遠ジオロード」による 観光ブランド創出・周遊促進事業
団体名	一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー
団体の活動状況	本事業は、三遠南信自動車道沿線地域の３つの地域連携DMO（（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、（一社）奥三河観光協議会、（一社）ほの国東三河観光ビューロー（事務局））の連携組織である任意団体「三遠南信自動車道地域間観光連携協議会（仮称）を立ち上げ進める。現状は本事業等連携事業の準備段階であり、令和7年度中には任意団体として組織化を予定。今回の応募は、事務局として（一社）ほの国東三河観光ビューローが担当し実施体制を構築する。各地域連携DMOにおいては、地域内外からの観光交流客の誘客促進、地域内観光消費の獲得等を目的に各種事業を展開している。広域連携事業においては、三遠南信・伊勢志摩広域観光事業において連携するほか、東三河と遠州、西三河を繋ぐ「国道23号＆１号バイパススタンプラリー」の実施や沿線観光マップの発行などを実施したほか、東三河と奥三河においては、春、秋の四季彩ブランドなどの周遊促進事業を毎年展開。東三河と遠州（浜松・浜名湖）では春の花めぐりで連携をとるなど具体的な観光連携事業を展開中。
プランの骨子	【事業の目的】 ・令和7年度末に予定される三遠南信自動車道・東栄IC～鳳来峡IC間の開通による地域間移動の利便性向上を活用した道路利用促進と観光交流・地域活性化を目指す。 ・三遠南信自動車道は、新東名高速道路・浜松いなさJCT及び東名高速道路・三ケ日JCTと接続されており、本道路の新規区間開通によって、域内のみならず、愛知県西三河、尾張、静岡県遠州東部など、より広域エリアからの観光促進を進める。 ・広域観光周遊促進及び地域内観光消費循環による地域経済活性化を目指す。 【事業内容】 ・道路によって繋がる地域全体の魅力のまとめと磨き上げを進め、地域の共通特性である【中央構造線上に位置する「山・川・湖」の自然・ジオ資源を活用】を進め、エリアの価値創造と地域ブランド化を推進する。 ①中央構造線上の地域間連携「”山・川・湖” 三遠ジオロード」（仮称）における観光ブランド化の展開 ②地域資源のとりまとめと体験アクティビティや各種プログラム等の集約や創出による魅力の磨き上げ ③「三遠ジオロード周遊観光マップ」の発行による情報発信 ④PR・キャンペーン（域内のみならず、域外（主に隣接地域）への周知・認知向上に向けたPR推進事業）

事業活動地域（地図等で具体的に表示）

静岡県　浜松・浜名湖エリア：浜松市、湖西市
愛知県　奥三河エリア：新城市、設楽町、東栄町、豊根村
愛知県　東三河エリア：豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村（奥三河4市町村は奥三河と重
（周辺エリア：誘客対象エリアとして、愛知県西三河、尾張地方、静岡県遠州東部地域等）

地図出典：国土交通省中部地方整備局WEBサイト